

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
15136	美術史	2単位 後期	1~2	講義	金 恵信 (コーディネーター) 上間 かな恵(非) 中島 アリサ(非) 鶴田 大(非) 平良優季(非)

## ■テーマ トピックからひも解く美術史

### ■授業の概要

本科目では、「美術史」といえども、通史的なアプローチは行わない。むしろ、美術史（特に近現代）上で重要なトピックを各担当教員が提示し、それを受講生が自らの制作や研究のためのヒントとすることを目的とする。各担当教員の実務経験を活かした応用可能な事例を含む内容を講ずるので、それを基盤として各受講者が役立てることを期待するものである。

### ■到達目標

- ・各担当教員が提示する美術史上の重要なトピックを理解すること。

### ■授業計画・方法

1. オリエンテーション／美術について考える基本的態度 [金]
  2. 戦争・平和と美術 (1) 佐喜真美術館の成り立ち／美術からみる戦争—「戦争画」とは [上間]
  3. 戦争・平和と美術 (2) 丸木位里・丸木俊の共同制作—連作「沖縄戦の図」を中心に
  4. 戦争・平和と美術 (3) 美術と平和教育—その問題点と可能性
  5. 書と「日本美術史」(1) 書と近代日本美術史 [鶴田]
  6. 書と物語をめぐる「日本美術史」(2) 「物語」美術から「歴史」美術へ
  7. 書と物語をめぐる「日本美術史」(3) 琉球国から琉球弧へ
  8. 都市の近代化と美術 (1) 時代背景 [中島]
  9. 都市の近代化と美術 (2) 主題
  10. 都市の近代化と美術 (3) パリと芸術家たち
  11. 「美術」制度と表現 (1) 明治期における展覧会制度 [平良]
  12. 「美術」制度と表現 (2) 明治期における「美術」をめぐる諸制度
  13. 「美術」制度と表現 (3) 明治期以降における画材・表現の変化
  14. 展覧会と美術 (1) 基本概念 [金]
  15. 展覧会と美術 (2) 国際企画展の美術[金]
- ※授業担当者の順序は上記のとおりではない。  
 ※定期試験は実施しない。  
 ※上間、鶴田、中島の授業は、博物館等での実務経験を活かして受講者の実践に資するものである。

### ■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・授業で話された内容を自分の問題として吟味し、しっかりと復習すること。

### ■成績評価の方法・基準

□方法 平常点 (50%)、期末レポート (50%)

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

### ■教科書・参考文献（資料）等

□教科書 特になし

□テキスト 特になし

□参考文献

ヴァーノン・ハイド・マイナー『美術史の歴史』ブリュッケ、2003（開架一般 702.01/Mi46）

ジョン・A・ウォーカー、サラ・チャップリン『ヴィジュアル・カルチャー入門』晃洋書房、2001（開架一般 701/Wa）

ほか、授業内で都度紹介する。